

『Mind Charging』

第 51 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 6 月 6 日

ジョージ・バーンズの名言



You can't help getting older, but you don't have to get old.

年を取るのは仕方ないが、年寄りになる必要はない。

『年齢なんて、ただの数字である』という言葉があります。みなさんには全く実感はないと思いますが、20年から30年後に刺さる言葉になることは間違いありません。もちろん年齢を重ねていくことで体力の低下などがありますが、経験に裏打ちされたテクニックなどを駆使して勝負することは可能だと考えていますし、私自身も自分にそう言い聞かせています。そういう意味では有名ブランドなどで、現在も世界のトレンドを生み出している年配のデザイナーの方々、新しい(若い)感性を持った人ということですので『年寄り』ではないということだと思います。

そもそも、『若い』ということと『年寄り』ということについて、実際の年齢以外でどのように区別できるのかを考えた時に、私は『見た目年齢』と『精神年齢』というワードが頭に浮かびました。他にも『〇〇〇〇年齢』というワードはあると思いますが、たまたま浮かんだこの2つのワードから受けるイメージが、なんとも面白く、『若い』と評価されるとうれしいものとうれしくないものにキレイに分かれました。それと同時に、捉え方によってはどちらに評価されてもうれしいことだとも感じました。

もしかしたら、そういった柔軟な考え方を持っていれば、抱えなくて済むストレスが実は多いのかもしれない。そして、その柔軟さを保ち続けることこそが『若さ』なのかもしれませんね。(編集委員：入試広報室 鈴木)

ジョージ・バーンズ(George Burns, 1896年1月20日 - 1996年3月9日)は、アメリカ合衆国ニューヨーク生まれの俳優、コメディアン。本名はネイサン・バーンバウム(Nathan Birnbaum)。100歳まで生きた。7歳の時に街角で歌を聴かせるピーウィー・カルテットという一座に入り、芸人生活を始める。1923年、後に妻となるグレイシー・アレン(英語版)と出会いコンビを結成。バーンズ・アンド・アレン(英語版)の2人で舞台・ラジオ・映画・テレビなど幅広く活躍した。1950年からテレビで放送された『The George Burns & Gracie Allen Show』は9シーズン続いた人気番組で、エミー賞に何度もノミネートされている。妻グレイシーは心臓を患ったため1958年に引退し、1964年に死去した。(Wikipedia 参照)